

ひどい!

浜田市長 公約は努力目標と答弁

3月市議会の焦点のひとつは国保税問題です。3月議会に国保加入世帯の3割ほどの世帯に平均30000円の値下げを行なう議案が提案されています。

国保税年3000円引き下げ

今回の引き下げが実施されても、所得150万円の2人世帯は年間2800円下がって25万8000円。所得200万円の2人世帯は年間4200円下がって32万7200円。所得300万1円	の4人世帯は年間6700円下がって53万4100円、という国保税です。これは、高所得者の国保税を値上げして、その分で負担が重い世帯の国保税を下げるという提案です。
---	---

赤字解消に繰り入れ増やす

3月12日の議案質疑で、浜田市長は三重議員の質問に「累積赤字解消は最優先課題。累積赤字は3億2000万円を切るところまでできたが、H24年度末の累積赤字の状況を

見ながら赤字解消のため一般会計からの繰り入れを増額する」と答弁しました。この答弁を受けて、えんど久子市議は、議案質疑をしました。

市長の公約に期待していたのに...



この程度で公約実現ではない

「浜田市長は選挙前『一般会計からの繰り入れの増額を検討し国保税の負担を軽く』と公約した。しかし、今回の予算で一般会計からの繰り入れは増えていない。担当課の努力は評価するが、この提案は国民健康保険特別会計の中でやりくりで市長の選挙公約とは別だ。選挙後1年にあるこの議会に一般会計からの繰り入れを増

やし国保税の大幅引き下げを提案し、公約実現すべきだったと思うが。市長の考えは？」と、えんど市議が質問。すると浜田市長は、「負担を軽くという主旨や方向性は盛りこんだ。選挙公約はあくまでも努力目標だ。ただ、これで公約実現とはならない」などと、無責任な答弁をするので、議場はざわつきました。

(ウラ面に続く)

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.504

2012. 3. 21.

<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

市長の無責任発言に

怒り爆発

国保税値下げは死活問題

えんど市議は声を荒げて「『選挙公約はあくまでも努力目標だ』なんて有権者である市民のみなさんに対して失礼じゃないですか。市民のみなさん怒りますよ！保険年金課の窓口で『そんなに払ったら生活できません』と毎日やり合ってるじゃないですか。国保税の引き下げは市民のみなさんにとって死活問題なんですよ。赤字解消が最優先課題だと言

市長が謝罪

その後、えんど市議の一般質問の前日、河野かずのり議員が「選挙公約は努力目標なんかじゃないよ。民主党より悪いじゃないか」と述べ、浜田市長は「そういうつもりで言ったのではない。誠心

うが、市民の負担を軽くすることこそ最優先課題でしょ。国保税を払ったら生活できないなんてあってはならないことですよ。こんな事態を打開するのが市の仕事でしょ！」と怒りました。しかし、浜田市長は言い訳がましいことを言うのです。市政をあずかる市長としてあってはならない大変恥ずかしい発言です。

誠意公約実現に努力していく。えんど議員にお詫びを申し上げます」と謝罪。



市民との約束に責任持て

それを受けての一般質問。えんど市議は「きのうの答弁を事実上の発言取り消しと受け取ったが、私に謝るよりも市民のみなさんに謝るべきだ。努力目標なら責任がない。

選挙公約は市民との約束であり責任がある。しかも、現職市長が全ての状況をわかった上で公約したことであり、新人候補とはわけが違う」と市長答弁を求めました。

100%公約実現に努力と答弁

浜田博市長は「100%公約実現に努力します」と答弁。

えんど市議は「100%公約実現に努力すると言ったが、先日の答弁では来年もまだ公約実現にはならない。赤字解消のための繰り入れはするが、繰り入れを増やしての国保税引き下げとはならない。それでは困る。『選挙から2年たっても実現してくれん』となったら市民は『市長は選挙前だけ調子のいいこと言った

んか』となる。先延ばしすれば、その間市民は高い国保税を払い続け、払えなければ延滞金がかさんでいく。市長も一度国保の窓口で市民に対応してみたらいい。早く公約実現すべきでしょ」と、何度も市長答弁を求めるえんど市議に市長は「公約実現に向け検討する」という答弁をしました。今後とも国保税の大幅引き下げめざしががんばります。